



足利市議会議員

大谷やよい

いつも元気でおせっかい

あししぎ・あしあと

● ごあいさつ

令和3年8月20日から発出されていた緊急事態宣言が、10月1日で解除されました。栃木県に緊急事態宣言が発令されたのは、令和2年4～5月、令和3年1～2月に続き、3回目となり、その間、東京オリンピック・パラリンピックなども行われました。

また、令和4年10月1日からは、「いちご一会とちぎ国体」があり、とちぎ大会開催まで1年、冬季大会（令和4年1月24日～）までは、100日を切りました。

このような状況をみながら、どのように受け止めているのでしょうか。

私も、初めての緊急事態宣言の頃は「3密を避ける・マスクをする・不要不急の外出はしない」などに対し、息苦しさを感じていました。また、時間をかけ準備していたことが、急に中止となると、正直、受け入れるまでに時間がかかりました。

しかし、3回目の緊急事態宣言が出るころには、時間の使い方を工夫していたり、どうしたらできるのかを考えていたり。さらには、中止や延期を初めから覚悟しながら進めていけるようにもなりました。その結果、複数の実施パターンを考える必要が出てきますので、活動の幅が広がったようにも思えます。

これまでは、コロナ以前の生活に戻ることを待っていた時期もありましたが、最近、ウィズコロナの気持ちで、新しい状況を前向きに捉え、変化していくことにしています。

これからも、コロナ禍でもできることは何かを考えながら、足利市の未来を創造していきます。これからも、ご指導ください。よろしくお願ひいたします。



● 令和3年 第6回市議会定例会 9月議会（決算議会） 8月26日（木）～9月22日（水）

9月8日（水）13時より、23回目となる一般質問を行いました。今回も、新型コロナウイルス感染症に配慮した一般質問を行うこととなり、時間短縮を心掛けて行いました。

1点目は、新型コロナウイルス感染症の影響で、足利市の税収も減少しています。景気の低迷に遅れて税収減が追いかけてきますので、回復には長期間を要することが想定されます。このような状況で、新市長は、どのような財政運営の舵取りをしていくのか。どのような考えを基に政策展開していくのかを伺いました。

2点目として、ワクチン接種によって、ワクチンハラスメントが起きています。更なる啓発強化を行う必要があることを伝えました。

最後は、「ヤングケアラー」について、子どもたちの未来（就学や就職）への価値観に影響がでないようにするためにも、足利市においても、早期発見や支援策の推進を行うべきと伝えました。

具体的な内容は、以下の通りです。

1、持続可能な財政運営について

(1) ワイズスペンディングの考え方

・令和3年6月に閣議決定された経済財政運営と改革の基本方針2021において、国は地方財政改革と地方行財政の見える化改革・EBPM（証拠に基づく政策立案）を引き続き推進し、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金など地方自治体にとって自由度が高い予算措置について事業の用途等の比較検証を行うとしている。

本市においても同交付金などを活用して実施してきた感染症対策や経済対策について、予算の執行状況の点検や費用対効果の検証を行い、その結果を行政機関内部にとどめず分かりやすい形で公表することで、今後も起こり得る大規模感染症の対策に生かせるようにすべきと考えるがどうか。

・同基本方針によると、国は新型コロナウイルス感染症の収束後、早期に地方財政の歳出構造を平時に戻すとしている。本市では、同感染症の影響などから市税等は令和元年度に比べて落ち込みを見せ、回復への長期間化も想定される。さらに厳しい財政状況が続く

ことが懸念されるが、今後の本市の財政運営について市長の考えを聞きたい。

2、新型コロナウイルス感染症について

(1) ワクチン接種と人権問題

・国は新型コロナウイルスワクチンについて、希望する全ての対象者への接種を令和3年10月から11月にかけて完了することを目指すとしているが、本市では11月中の接種完了に目途がついているのか。また、どの程度の接種率を目指しているのか。

・令和3年7月に変更された新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針によると、国はワクチン接種について、国民が自らの意思で判断を行うことができるよう取り組むこととしている。ワクチン接種は任意接種であるにもかかわらず、接種の強要や接種を受けないことへの差別的な扱いなどのハラスメントが報告されておりワクチン接種に係る人権啓発についてさらに強化を図るべきと考えるがどうか。

3、共助・共生社会づくりについて

(1) ヤングケアラー

・国はヤングケアラーについて、早期発見・把握、相談支援などの支援策の推進、社会的認知度の向上などに取り組むため、令和3年5月にヤングケアラーの支援に向けた福祉・介護・医療・教育の連携プロジェクトチームを立ち上げた。同チームは、ヤングケアラーを学校や地域などで早期に発見して支援につなげるための施策を取りまとめ、スピード感を持って取り組むとしている。

また、栃木県那須塩原市では、ヤングケアラー経験者を講師とする中学生へのキャリア講習会や無料通信アプリLINEを活用した相談窓口の開設などの先進的な取組を行っている。本市はこうした動きをどのように捉えているのか。

※詳細は、足利市議会ホームページ「会議録検索と閲覧」よりご覧になれます。また、下記の二次元コードを読み取ると、スマートフォンから議会中継がご利用になれます。

傍聴にきませんか？

次回、令和3年第7回市議会定例会（予定）は、11月30日（火）～12月22日（水）  
一般質問は、12月10日（金）・13日（月）・14日（火）10時～ 足利市役所3階 議場にて傍聴できます。  
上記は、あくまでも予定です。詳細は、足利市議会ホームページ等でご確認ください。お待ちしております。

インターネット中継



スマートフォンで視聴  
左記の二次元コードを  
読み取ると、スマート  
フォンから議会中継が  
ご利用になれます。

# こんな活動もしています!

## ●シトラスリボンINとちぎ あしかが実行委員会

新型コロナウイルス感染症に感染した方や医療従事者に対する誹謗中傷や差別をなくそうと訴える活動が、愛媛県から始まり、足利市内でも活動の広がりをみせています。

今年度のおしかが実行委員会では、赤い羽根共同募金からの助成を受け、市内小中学校の児童生徒との交流活動を中心に行っています。

昨年度に引き続き、協和中福祉員会から依頼を受け、シトラスリボンづくりの指導、今年度は、新たに第3中学校、協和中学校の生徒にシトラスリボンを贈るなど、活動の幅を広げることができました。

ただいま、おかしりって言いあえるまちに  
みんなで広げよう  
シトラスリボンプロジェクト  
INとちぎ



わたしたちは  
シトラスリボンINとちぎ  
に参加しています

感染された方々や、医療の最前線で  
働かれている方々が差別されることの無い  
やさしさにあふれる社会であることを願って!

シトラスリボンの結び方



ただいま、おかしりって言いあえるまちに  
みんなで  
広げよう  
シトラスリボン  
プロジェクト

シトラスリボンINとちぎ

## ●RUN伴+足利・佐野2021実行委員会

認知症への理解と啓発をすることを目的に、オレンジをイメージカラーとし、全国各地で「タスキリレー」を行っています。

コロナ禍ということもあり、タスキリレーは中止としましたが、今年度からは、主旨に賛同くださる市内企業や公共施設において「オレンジフラッグリレー」を実施しました。昨年度に引き続き、「オレンジライトアップ」を史跡足利学校や足利織姫神社、今年度からは新たに、(株)トチセン様と実施しました。

10月31日(日)には、コムファーストのコムコム広場をお借りして「RUN伴+足利・佐野」の活動紹介と認知症への啓発展示を行います。



## ●ボランティアグループ あしかが子育て応援ネット

子育てするなら足利市を目指し、子育て情報誌の作成や子育て支援(食物アレルギー啓発や発達障がい)の講座開催など)をするボランティア団体です。9月には、18回目となる「あしかがいっしょ」に子育てガイド学童期編)完成しました。

9月から小学校で行われる就学児健康診断の際に、お渡しできるように毎年製作しています。

また、今年度も11月17日(水)、24日(水)には、「思春期の発達障がい」についての講座を行います。申し込みは、織姫公民館です。



保護者を交える講座  
令和3年度 足利市民企業講座

# 思春期の発達障がいについて

会場: 足利市生涯学習センター 302号室 (相生町1-1)

①11/17(水) 午後7時~9時 **参加無料**

講師: 足利市十字病院 神経精神科部長 船山 道隆さん  
「思春期の発達障がいと二次障害への対応」  
平成8年豊原薬科大学医学部卒業。平成9年より足利市十字病院勤務。平成21年より院附神経精神科部長。神経精神外来及び児童発達外来で、発達に関する障害(自閉症、アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障害、学習障害、精神発達遅滞など)の診察にあたる。  
精神科専門医および指導医、プラクティス協議会、精神科指定医、日本神経心理学会理事・幹事委員、日本精神科医学会幹事委員、日本ADHD学会会員

②11/24(水) 午後7時~9時  
保護者体験講座と座談会「子育てウチの場合」  
発達障がいを持つお子さんと共に歩んで来られた先輩ママの体験談。普通の子育てでは味わえないあれこれと現況について、お話を伺います。体験談の後、参加者同士、行政で支援に関わる方も交えて、情報交換のしりとりを行います。話し合いも、聞いてほしいだけの方も、どうぞ。

感染予防のために  
当日は検温してからお越しください。マスク着用と手洗いの消毒にご協力をお願いします。  
講座開始1週間前から当日までにご来場・早退状態時、感染を疑った方は参加を控えてください。申し込み後、参加できなくなった場合は、参加できないことが取ります。

託児無料  
託児について  
講座の開始と参加申し込み下さい。お申し込み1週間前まで  
託児する子の1名前名年齢③性別は参加の上での注意点を告知させていただきます。

申込み方法  
10月8日からの電話・FAX・メールのいずれかで申し込み下さい。  
メールアドレス: QRコード  
対象者: どなたでも 定員: 各30名 先着順  
申込先: 織姫公民館 TEL.0284-21-6144 FAX.0284-21-9548  
〒497-0801 足利市相生町1-1 織姫公民館  
お申し込みの原簿(参加希望講座①②・③・④)・氏名・市町村名・電話番号・お子さんの年齢または学年(支援者の立場の力は所属又は職名)をお知らせ下さい。

<企画・運営: ボランティアグループ あしかが子育て応援ネット> 継続講座

## お困りのことがありましたら、ご相談ください。

道路の破損や陥没、草刈りの依頼。また、地域猫や子どものこと、介護のことなどなど、これまでも、たくさんのご相談を頂戴しています。

私でよろしければ、お話しください。



## ご理解をお願いします。ワクチンハラスメント

体質や持病などの理由で、新型コロナワクチンを接種できない人もいます。また、接種を受けることは強制ではなく、感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について理解した上で、自らの意志で接種を受けていただくことになります。接種していない人に対して、接種の強制や差別、不利益な取り扱いを行うことのないよう、みなさんのご理解とご協力ををお願いします。

## ワクチン接種をした人も、これまで通りの感染対策を

ワクチンを接種していれば、ブレークスルー感染が起こってもほとんどの場合、重症化を免れます。しかし、感染することもありますし、感染しても発病しないことも多いので自分では気付かないこともあります。もし、マスクを着用しないで会話をしたり、3密の場所に入ったりすると、他の人にうつしてしまう恐れがあります。これまで通りの感染対策を続けていただきたいと思います。

